



# ★ 羅針盤 No.59

気持ちを新たに新年を迎えて、今年も頑張ろうと前向きに始動した人々に、1月下旬は暗いニュースが続きました。邦人が拉致され不幸な結果となったニュースには、優しい心が届かない国があると言う事を改めて知らされ、暗澹とさせられました。海外旅行も行く先を吟味しなければならぬでしょう。国内では女子大生が殺人願望を実行させたという報道もありました。やるせない気持ちになりますが、改めて気持ちを入れ替え、周囲と心を通わせた生活を築くことが大事です。

冬の夜空はとびぬけて明るい星が見られる季節です。文部省唱歌にも「冬の星座」があります。2月は木星と月が近づくとのこと。星座を形作る星々は明るい月の光の影響で見えにくくなりますが、明るい木星が月明かりにも負けずに輝いているようすがわかるでしょうとの記事を見つけました。何万光年もかけて地球に光を届ける星座のオーラが、地球上の人々の心を鎮めてくれることを祈ります。



(白梅)

東港金属株式会社は非鉄・スクラップの買取り、産業廃棄物の処理を“いつでも”お受けいたします。身近なリサイクルパートナーとしてお気軽にご相談ください。

**東港金属株式会社**  
 東京都大田区京浜島2-20-4  
 電話 03-3790-1751  
 URL <http://www.tokometal.co.jp>  
 (見学受付)  
 電話03-3790-1751 又は各営業担当

## ★ 羅針盤

## 鉄・非鉄スクラップ・市況からの2月予測

営業部 Y の考察

- 鉄スクラップ** → 考察) 1月は、東京製鉄の宇都宮工場以外は1,000円/トン下がりました。関東のみ現状維持。しかしながら他の電炉メーカーは荷止めや価格下げが出ております。2月予測は、国内電炉の生産量の減少、海外では東アジア需要が回復しない為、供給量も減少する為、横ばいもしくは下げが見込まれます。
- 銅** → 考察) 1月は動きませんでした。LME6,300ドル/トン台、国内銅建値810,000円/トンでスタートし、最終的には、LME5,500ドルを得有り込むなど下落が続き5年半ぶりの安値。原因は、原油安、中国の景況悪化、欧州経済の低迷。2月は、円高傾向であり、社会情勢の不安定さから考えると、さらなる下落になると思われます。
- アルミ** → 考察) 1月は上物・裾物ともに下落。2月に関しては、新塊の価格が下がっていますが横ばいでしょう。
- プラスチック** → 考察) 相変わらずの原油安により2月は下がるでしょう。

1月予測の自己評価

- 鉄スクラップ ○ アルミ ×  
 銅 ○ プラスチック ○

## ★ 羅針盤

## 低濃度PCB廃棄物処理の現状

廃棄物処理法で特定有害産業廃棄物とされるポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物の処理は、高濃度廃棄物(濃度が5,000mg/kgを超えるもの)をJESCO(中間貯蔵・環境安全事業株式会社、旧環境安全事業株式会社)が担い、低濃度廃棄物(濃度5,000mg/kg以下)は、無害化処理認定制度がスタートし、平成21年11月から国が認定した処理施設で処理することになりました。環境省ホームページ <http://www.env.go.jp/recycle/poly/facilities.html> に 現在認定されている処理施設が掲載されております。低濃度PCB廃棄物は、廃棄物処理法の施行規則で、次の①～③の3種類に規定されております。概要を記載いたしますので、低濃度PCBの処理に際してはご確認ください。

	低濃度PCB廃棄物	
	I 微量PCB汚染廃電気機器等	II 低濃度PCB含有廃棄物
① 低濃度PCB廃油	イ 微量PCB汚染絶縁油 電気機器又はOFケーブルに使用された絶縁油であって、微量のPCBによって汚染されたもの	ロ 低濃度PCB含有廃油 (PCB濃度が5,000mg/kg以下の廃油等) (主として液状物)
② 低濃度PCB汚染物	イ 微量PCB汚染物 微量PCB汚染絶縁油によって汚染されたもの	ロ 低濃度PCB含有汚染物 *PCB濃度が5,000mg/kg以下の汚泥、紙くず、木くず、繊維くず、廃プラスチック類 *金属くず、陶磁器くず、コンクリート破片等の不要物 (金属くず等)に付着したもののPCB濃度が5,000mg/kg以下のもの (主として固形物)
③ 低濃度PCB処理物	イ 「微量PCB処理物」 ①又は②イに掲げる廃棄物を処分するために処理したものの	ロ 低濃度PCB含有処理物 PCB廃棄物を処分するために処理したものであって、PCB濃度が5,000mg/kg以下のもの (金属くず等は付着物のPCB濃度)

さて、決意とは裏腹に高校3年間のジュニアの成績はまったく振るわないものでした。1年夏の新人戦のスコアは92、2年の関東ジュニアの予選のスコアは88、3年の関東ジュニアの予選のスコアは84。目標であった日本ジュニアの出場すら勝ち取ることが出来なかったのです。「こんなことで本当にプロになれるのか？」ゴルフの厳しさを改めて感じる3年間はあっという間に終わりました。当然、名立たる大学からのゴルフ推薦はなく、残された道はゴルフ場に就職をして研修生としてプロを目指すしかありませんでした。次号は研修生からプロゴルファーを目指しての奮闘となります！乞うご期待！

長谷川 武史(営業部 主任)

## 私のゴルフ人生

### 第4話



晴れて浦和学院ゴルフ部へ進学した私に待っていたのはあまりにも衝撃的な現実でした。新入部員15名中ジュニアからの経験者が14名で全くの未経験者は私一人だったのです。

ジュニアでの経験もあり、体格も誰もが私より大きく入部一日目で圧倒されてしまいました。更に驚かされたのが2、3年生の実力でした。中でも関東ジュニアでは常に上位で日本ジュニアにも出場している2年生の長谷川太郎先輩(同じ長谷川でも大違いですが)は身長180cmを超えるスリムな体でしたがその体から放たれる弾道は地を這い伸び上がっていくもので全く別次元の球筋でした。

「これが1年上の高校生が打つ弾道なのか?!」私は愕然としました。それなりに上手い人はいるのだろうと軽く考えていた私には全く及ばない世界だったのです。井の中の蛙とはまさにこのことです。初日から打ちのめされてしまいました。

2日目新入部員全員が監督、先輩方の前で練習をすることになりました。私以外の新入部員はジュニア経験者ですからクラブもフルセット揃っておりそれなりに形になっており、監督・先輩方もスイングを見て頷いたりアドバイスをしたりと様々なリアクションをしておりました。しかし私の後ろに来た先輩方は私を見るなりいきなり言い放ちました「体小さいな〜」「レフティーか〜」「スイング汚ねえな〜」「クラブ揃ってねえじゃん〜」など好き勝手なことを言い放ったのです。恥ずかしさと怒りで顔が真っ赤になりました。言っていることはすべてが事実ですが夢と希望を持ちこれから練習をして上手くなりたいと入ってきた純粋無垢な新入部員に対してそんな直球投げかけることはないだろうと思ひながら私は怒りを込めて決意をしました。

「絶対こいつらには負けない!この環境を変えてやる!日本ジュニアに出て大学からゴルフ推薦を受けて必ずプロになってやる!」と……その後の3年間は休む間もないゴルフ中心の生活を送りました。月曜日〜金曜日は部活から20時に帰宅し21時から近所の練習場で22時まで練習、練習をさせて頂く代わりに22時から球拾いをし23時に終了。父親との約束である学費とゴルフ用品の購入費、合宿費などの費用を工面するために土日は近所のスーパーでレジ打ちなどのバイトをして働きました。

3年間はあっという間でした。自分でもよく頑張ったと思うほどハードな生活でしたが不思議と楽しい思い出がありません。今になって思うことですが、親父が厳しく接した意味がよくわかりました。なにかに一生懸命打込む苦勞は若ければ若いほど人を強くしてくれるものだという事を教えたかったんだと。